



「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。」(エレミヤ 31:3~4)



エターナル・ラブ・イスラエルは、日本国内でユダヤ人に福音を伝える働きです。

- 事務局：〒226-0014 横浜市緑区台村町 186 番地 TEL:090-8729-0856
- メール：eternalloveisrael@gmail.com ●ホームページ：<http://eli.holy.jp>
- 銀行口座：三菱東京 UFJ 銀行 武蔵新城市駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル



代表 宮本 純子(聖契神学校卒業、WMTC 世界宣教研修センター卒業)

☆イスラエル柔道チームを奨励☆



ハレルヤ！主の聖名を心から賛美いたします。

いつもエターナル・ラブ・イスラエルの働きのためにお祈りと尊いご献金で支えてくださり心から感謝致します。今後も神様の御心に従ってユダヤ人伝道に励んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



3月5日、東京で開催された柔道グランドスラムで来日したイスラエル柔道チームのオレン・スマジャ監督、サギ・ムキ選手、ガイコーチ、チームドクターを銀座にておもてなしをし、クリスチャンとして激励しました。

オレン・スマジャ監督は、イスラエルにおいて柔道普及のきっかけをつくった父親の影響により柔道を始め、1992年バルセロナオリンピックでは、イスラエル選手として初の銅メダルを獲得。1995年の世界選手権では、決勝で古賀稔彦さんに一本背負投で敗れ銀メダルを獲得。私は、古賀稔彦さんご逝去に、オレン監督が書かれた哀悼の意を読んで涙しました。相手を尊敬し、柔道を愛するオレン監督が育てたサギ・ムキ選手も素晴らしいアスリートです。オリンピックや国際柔道大会など世界で活躍するイスラエル柔道チームは、仲間を大切にします。今後もイスラエル柔道チームの友であり仲間として背後で祈り、奨励していきたいと思えます。



☆エステル記のプリムの祭りを祝う☆



3月6日、エステル記のお祭りであるプリムを多くのユダヤ人と共にお祝いしました。プリムは、子供も大人も仮装をする楽しいお祭りです。これは、エステルがユダヤ人であることを隠していたことにちなんでいます。今年は、アメリカをテーマに仮装しました。

プリムの祭りは、ユダヤ教の会堂(シナゴグ)でエステル記「メギラー」を朗読します。朗読中に「エステル」と「モルデカイ」の名前が呼ばれると歓声をあげ、逆に宿敵である「ハマン」の名前が出てくる度にガラガラと音の鳴るオモチャや足を踏み鳴らして音を出します。

プリムでは「オズネイ・ハマン(ハマンの耳)」という三角形のお菓子を食べます。これはハマンが三角形の帽子をかぶっていたことにちなんでいます。

神様が、エステルを背後で用いてくださったように、私もエステルのように、ユダヤ人の救いのために神様に用いていただけるように祈ります。



(ラビご夫妻と共に)

☆イスラエル人と共にお花見☆



4月1日、日本イスラエル親善協会主催のお花見が東京都世田谷区の砧公園にて実施され、駐日イスラエル大使館からイスラエル・ストゥルロヴ公使が参加されイスラエル人旅行者や多くのユダヤ人たちとイスラエルを愛する日本人約50名が参加し桜を楽しみました。春の恒例行事、晴天にも恵まれて、美しい桜が咲き誇る中、和やかな雰囲気の中で楽しく過ごしました。



イスラエル・ストゥルロヴ公使は、この1年間に日本各地で開催された「日伊国交樹立70周年記念イベント」に感謝の意を述べられました。また、今年の独立記念日(5月14日)以降は、「イスラエル独立75周年」が始まると宣言されました。

再会した方と近況を語り合い、新しい方々との出会いも多くあり、祝福された時を過ごすことが出来ましたことを主に心から感謝致します。

☆Zivさんとの出会い☆



3月25日、「聖地画展」「森祐理コンサート」に向けての準備と打ち合わせをしました。主が必要な方々と出会わせてくださいました。小泉恵一さんを通して、イスラエル人旅行者のZivさん、小山由美子さん、主愛さんと出会いました。

Zivさんにヘブライ語のトラクトを渡し、共に賛美と祈り、祝福の時を過ごしました。Zivさんによるプレコンサートも決定し、又、主愛さんが30周年記念イベントの予告映像を作成してくださいました。心から感謝致します。

☆過越の祭を祝う☆



4月5日、「過越の祭の食事会(セデル)」「(ハバッドジャパン主催アメリカンクラブ東京にて)が、開催されました。小泉恵一さんとZivさん、他の友人も誘い、一緒に参加しました。約200人の在日ユダヤ人やZivさんのように旅行中のイスラエル人と共に過越の祭をお祝いしました。

今年の過越の祭は、4月5日の日没から4月12日の日没までの7日間でした。受難日もイースターも重なる特別な期間でした。過越の祭は、ユダヤ三大祭りの一つで、イスラエルの民がモーセに率いられて出エジプトをしたことを記憶します。祭りの期間中は、イースト菌(パン種)の入ったパンは食さず、種なしパンを食します。マタイの福音書26章から「最後の晚餐」は、過越の祭の食事セデルだったことがわかります。イエス様も過越の祭をお祝いしていました。



出エジプトの十の災いは、過越の夜、エジプトのあちこちの家で初子が死にました。神の約束通り、信仰によって家の入り口に傷のない小羊の血をつけた家を神様は過ぎ越され、その家には死がありませんでした。翌朝、イスラエルの民は全員、罪と死の象徴であるエジプトから脱出できたのです。



「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」私達の罪を贖うものは、罪のない神の小羊なるイエス様です。出エジプトのユダヤ人たちが信仰により、傷のない小羊の血を門柱とかもいにつけたのと同じように、私たちもまた、神の小羊であるイエス・キリス

トの十字架上で流された尊い血潮を、私たちの心と魂の入り口につけようではありませんか。

イエス様の十字架の贖いを心から感謝致します。

☆エターナル・ラブ・イスラエル 30 周年記念「森祐理コンサート」&「聖地画展」☆



4月8日(土)、エターナル・ラブ・イスラエル 30 周年記念「森祐理コンサート」をお茶ノ水クリスチャン・センター8 階チャペルとロビーにて「聖地画展」を開催し、祝福で満たされましたことを主に心から感謝致します。

30 周年記念日に、過越の祭りの期間中の受難日の翌日にあたるこの日を選んだ理由は、イエス様は、全人類の罪を背負われて黄泉にまで下られたのだということと、死からよみがえられた復活を覚えるためでした。今回の「聖地画展」で、小泉恵一さんがこのテーマに合わせて素晴らしい作品を展示してくれました。

イスラエル人の Ziv さんが、プレコンサートで 15 分間、ギター演奏とヘブライ語の歌を披露してくださいました。Ziv さんは、歌う直前まで喉の調子を整えていました。Ziv さんの歌は、重いご病気になられたお母様のために作った歌で、傍らに座って歌われたそうです。母を想う優しいメロディーと歌声でした。

「森祐理コンサート」では、森祐理さんが、天使のような美しい歌声とイスラエルでのエピソードや阪神大震災で亡くなられた弟さんのお話を聞かせてくださいました。私がリクエストした「ヴィア・ドロローサ」も歌ってくださいました。賛美もお話も心に触れて涙があふれました。主の祝福で満ちあふれた素晴らしいコンサートでした。森祐理さんに心から感謝を申し上げます。

そして、エターナル・ラブ・イスラエル 30 周年記念コンサートのためにイスラエルの賛美とお証を題材にしての選曲と美しいイスラエルの映像の作成から演出、音響など統括して下さった岡 兼次郎様にも心から感謝致します。

リリースニュース Vol.111 をご覧になられた方々から多くのお問い合わせを頂きました。モリユリ後援会「メロディー会」の皆様にもお祈りで支えて頂き、コンサートにもお越しくださりありがとうございました。実は、当日の参加人数のことも主が最善に導いてくださると信じて委ねました。すると、お茶の水クリスチャンセンター・チャペルの人数制限も解除され、コロナ前と同じように多くの椅子が並び、参加人数も 100 人程が集められました。

「聖地画展」に素晴らしい作品を出展して下さった小泉恵一さん、小山由美子さん、高木共子さん、本当にありがとうございました。

エターナル・ラブ・イスラエル 30 周年記念「森祐理コンサート」と「聖地画展」の様子を CGNTV Japan とクリスチャン新聞が取材に来てくださいました。

CGNTV Japan では YouTube で放映してくださいました。ご覧ください。クリスチャン新聞 4 月 23 日号 4 面に大きく記事にしてくださいました。

来られなかった方々に CGNTV Japan の動画とクリスチャン新聞の記事を通して様子をお伝えすることが出来て心から感謝致します。

主愛さんも映像を作成してくださいました。エターナル・ラブ・イスラエルのホームページと YouTube からご覧頂けます。

森祐理さんがリリースダイアリーに記事を書いてくださり、嬉しかったです。そして、モリユリちゃんねる「第 23 回オンラインコンサート」イスラエルの思い出と賛美の中で、エターナル・ラブ・イスラエルのこともお話してくださいました。とても嬉しかったです。「モリユリと行くイスラエル歌の旅」は、来年 1 月の予定だそうです。

主にすべてを感謝し、今後もぜひ「森祐理コンサート」&「聖地画展」を開催出来ることを主に祈ります。

☆祈りのリクエスト☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)

☆神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、イスラエルの平和が守られ、神様の計画と御心が成りますように。

☆ユダヤ人がイスラエルに帰還することが出来ますように。

☆イスラエル国内情勢と国政のためにお祈りください。

☆世界情勢が激しく動く中、世界中の政治的指導者たちが、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、政治を進める事が出来ますように。

☆世界中で起きている戦争、紛争、軍事侵攻、テロ、あらゆる対立などがなくなり、平和となりますように。

☆エルアル航空の直行便が就航したことにより、日本イスラエルの両国間の関係があらゆる分野で発展し、更に良い外交関係を築くことが出来ますように。

☆一人でも多くのユダヤ人がこの日本で、イエス・キリストに出会い救われますように。

☆イスラエルの民、ユダヤ人の救いのために。イエス様を信じて救われる魂が多く起こされますように。

☆クリスチャンがユダヤ人迫害をした歴史があります。ユダヤ人とクリスチャンが和解できますように。

☆メシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエル国内で大胆に伝道できますように。

☆ユダヤ人伝道とは、ユダヤ人に福音をお返しすることです。日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために神様の御心に従って祈り、愛をもって伝道が出来ますように。エターナル・ラブ・イスラエルの働きが主に祝福されますように。

☆主のご再臨のために。イスラエルの回復と救いのために。日本のリバイバルのために。



主はシオンからあなたを祝福される。
あなたは、いのちの日の限り、
エルサレムの繁栄を見よ。(詩篇 128:5)

☆2023年 夏のユダヤの祭り☆

☞7月27日 ティシャ・ベ・アブ(神殿崩壊日)

ヘブライ語で、ティシャとは9、ベアヴとはアヴの月という意味です。伝承によれば、紀元前586年のこの日にバビロニア人によってエルサレムの神殿が破壊され、その後、建てられた第二神殿も紀元70年のこの日にローマ人によって破壊されたとされます。ユダヤ民族最大の悲劇の日として記憶されています。

☆アートミニストリーからのお知らせ☆



☆4月19日~23日、「第45回記念神奈美公募展」神奈川県民ホールギャラリーにて開催されました。

☆5月17日~29日、「第118回太平洋展」国立新美術館にて開催しました。高木共子さんと宮本純子の絵画は入選し、会友推挙を頂きました。

☆9月6日~10日、「第65回太平洋神奈川展」横浜市民ギャラリーにて開催。

☆10月10日~15日、「第34回神奈川美術協会会員展」横浜市民ギャラリーにて開催。

🌸 アートを通じて多くの方々に、イスラエルの国について語り、そして福音を伝える働きをしています。皆さまにもぜひご高覧いただければ嬉しく思います。

🌸 皆さまの上に神様の祝福と恵みが豊かにありますよう心からお祈り申し上げます。

2023年6月 夏号発行(季刊誌)